

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	愛知県青い鳥医療療育センター		
○保護者評価実施期間	令和7年3月1日		～ 令和7年3月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 2名
○従業者評価実施期間	令和7年3月1日		～ 令和7年3月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○訪問先施設評価実施期間	令和7年3月1日		～ 令和7年3月28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	4施設	(回答数) 1施設
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・リハビリスタッフとの連携が図りやすく、多職種での支援を行うことができる。	・リハビリでの様子等を担当者に確認し、支援に繋げるよう心掛けている。	・委員会(地域療育)等で、情報共有を図る。
2	・通園部在籍児の希望が多いため、保護者参加の担当者会議で情報共有を行いやすい。	・支援プログラム作成時に、通園の状況を確認している。	・関係支援者との情報共有を行う。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者や訪問先への自己評価がスムーズにできなかった。	・評価アンケートの趣旨を保護者と訪問先に説明できていなかった。 ・事業所職員が自己評価についての意識が低かった。	・訪問支援の際、自己評価について訪問先と保護者に趣旨を説明する。 ・事業所職員が、自己評価の趣旨と内容の把握を行う。